

令和2年度

芽室町議会・議会サポーター名簿（案）

氏名	要職等	備考
神原 勝	北海道大学名誉教授	継続 議会改革
宮脇 淳	北海道大学公共政策大学院教授	継続 議会改革
江藤 俊昭	山梨学院大学大学院社会科学研究科長・ 法学部教授	継続 議会改革
山崎 幹根	北海道大学公共政策大学院教授	継続 公共政策
中尾 修	前栗山町議会事務局長・早稲田大学マニ フェスト研究所招聘研究員	継続 議会改革
石井 吉春	北海道大学公共政策大学院客員教授	継続 公共政策
若生 幸也	株式会社富士通総研 公共政策研究センター長	継続 ICT等
土山希美枝	龍谷大学政策学部教授	継続 公共政策

任期：令和2年7月1日～令和3年6月30日
（敬称略・順不同）

芽室町議会サポーター (アドバイザー)



神原勝氏 (北大名誉教授) 山崎幹根氏 (北大院教授) 江藤俊昭氏 (山梨学院大教授) 宮脇淳氏 (北大院教授) 中尾修氏 (元栗山町議会事務局長) 石井吉春教授 (北大院客員教授) 若生幸也講師 (富士通総研公共政策研究センター長) 土山希美枝氏 (龍谷大学教授)

平成24年4月1日から議会サポーター制度を導入しています。議会基本条例にも明記し、現在は8人に議長が委嘱しています。議会運営全般・自治法・財政・政策形成・ICTなど多角的にアドバイスをいただくとともに、議員研修会の講師をお願いしています。

芽室町議会サポーター設置要綱

(目的)

第1条 この要綱は、芽室町議会（以下「町議会」という。）の円滑かつ民主的な運営を推進するため、芽室町議会サポーター（以下「町議会サポーター」という。）を置く。

(定義)

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 町民 本町の区域内に居住する者をいう。

(2) 会議 町議会の本会議、常任委員会、特別委員会及び町議会議長（以下「議長」という。）の下に設置する検討会等をいう。

(定員)

第3条 町議会サポーターの定員は、5人以内とする。

(委嘱)

第5条 町議会サポーターは、議会運営等に関する専門的な知識及び経験を有する人のうちから議長が委嘱する。

(任期)

第4条 町議会サポーターの任期は、1年とし、再任を妨げない。

(職務)

第6条 町議会サポーターは、次の各号に定める職務を行うものとする。

(1) 議会運営全般に関する助言及び指導を行うこと。

(2) 議会活性化全般に関する相談を行うこと。

(3) その他議長が必要と認めること。

(提出された提言等の処理)

第7条 町議会サポーターから提言等が提出されたときは、議長は必要に応じ関係する会議を開催し、当該会議において検討させるものとする。

2 前項の規定による検討結果は、原則として当該提言等を提出した町議会サポーターに通知するとともに、議長が別に定める方法により町民に対し公表するものとする。

(庶務)

第8条 町議会サポーターに関する庶務は、議会事務局長が処理する。

(解任)

第9条 町議会サポーターが次の各号のいずれかに該当するときは、議長は当該町議会サポーターを解任できるものとする。

(1) 町議会サポーターから辞任の申し出があったとき。

(2) その他議長が必要と認めたとき。

(謝礼)

第10条 町議会サポーターは、無償とする。ただし、議長が必要と認めたときは、交通費相当額を支給することができる。

(その他)

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は議長が定める。

附 則

(実施期日)

1 この要綱は、平成24年4月1日から施行する。